

SHIGA みらいトーク

R8年度

R8(2026)/10/7Ver

～わたしたちの暮らしとまちと交通の未来を考える～

開催報告

(R8.8月開催分まで)



SHIGA
SMART
ACCESS
2040s

移動しやすく、
暮らしやすく。
豊かな滋賀を
みんなでつくろう。

滋賀県

タウンミーティング全体概要

○実施状況

開催市町	開催日時	会場	参加者数	全体参加者数	備考欄
甲賀市	令和8年 8月22日(土) 9:30~11:30	あいこうか市民ホール 1階 展示室	18人	41人	※開催結果掲載
竜王町	令和8年 8月29日(土) 14:00~16:00	竜王町公民館 2階 研修室	20人	42人	※開催結果掲載
高島市	令和8年 9月19日(土) 14:30~16:30	高島市役所 3階 9-12会議室	—	—	※開催結果とりまとめ中
米原市	令和8年 9月27日(日) 10:00~12:00	米原市役所 3階 3ABC会議室	—	—	※開催結果とりまとめ中
湖南市	令和8年 10月18日(日) 13:00~15:00	ここピア	—	—	※独自プログラム開催
野洲市	令和8年 10月26日(月) 18:30~20:30	野洲市役所 3階 第1委員会室	—	—	
守山市	令和8年 10月31日(土) 14:00~16:00	守山市役所 多目的ホール	—	—	
※上記以外の地域は調整中					

黒字:実施済み 灰字:未実施

※全体参加者数には、交通事業者、県内市町職員等を含む

タウンミーティング全体概要

○実施目的： 地域交通が充実した暮らしやまちづくりのイメージを共有するとともに、「どんなまちに暮らしたいか」「そのために地域交通はどうあるべきか」等を一緒に考えることで、自分たちのまちの未来を考え、地域交通に対する理解を深めていただく機会とする。また、地域ごとの課題やニーズ、いただいたアイデア等は、今後の施策検討に活かしていく。

○実施体制： [主催]滋賀県・滋賀地域交通活性化協議会、[共催・協力] 開催地市町
※開催回により体制が異なる場合があります。

○プログラム：

・趣旨説明
・グループワーク①(自分視点)
・県からの話題提供(県内の地域交通の現状、県の取組等)
・市町からの話題提供(市町内の地域交通の現状、市町の取組等)
・グループワーク②(他者視点)
・グループワーク③(まちづくり視点)
・グループ発表
・まとめ
・アンケート
・(終了後)個別質問・対話コーナー

○実施形式

グループワークを取り入れたワークショップ形式
(各グループ5名程度×4グループ程度)

○参加者募集

[募集対象]

各市町に在住／在勤／在学の方 ※年齢等不問

[募集人数] 各会場10～20名程度

※上記は基本形であり、開催回により内容は異なる場合がある

タウンミーティング全体概要

※市町独自のプログラムで実施した市町は個別項目で紹介

○グループワーク概要

【グループワーク①: 自分視点】 自分の「暮らし」の中での「移動」を共有しよう！

→自分の日々の暮らしと、その中での移動、困りごとなどについて、共有する。

対話の内容					
【自己紹介】(4つの窓) ➤ 私ってこんな人 ➤ どこから来た ➤ 今日ここへ〇〇で来た ➤ 知りたいこと、聞きたいこと、話したいこと	<table> <tr> <td>①私ってこんな人</td><td>②どこから来た</td></tr> <tr> <td>③今日ここへ〇〇で来た</td><td>④知りたいこと、聞きたいこと、話したいこと</td></tr> </table>	①私ってこんな人	②どこから来た	③今日ここへ〇〇で来た	④知りたいこと、聞きたいこと、話したいこと
①私ってこんな人	②どこから来た				
③今日ここへ〇〇で来た	④知りたいこと、聞きたいこと、話したいこと				
【共有する内容】 ➤ いつもはどこへ、何の目的で、 ➤ 何を使って移動していますか？ ➤ 平日は？ 休日は？ ➤ 楽しい？ 何か困ってる？ ➤ 〇〇だったらいいのと思うことは？	いつも、どこへ、 何のために、 何を使って、 移動していますか？ 平日は？ 休日は？ 楽しい？ 何か困ってる？ 〇〇だったらいいのと思うことは？				

タウンミーティング全体概要

※市町独自のプログラムで実施した市町は個別項目で紹介

○グループワーク概要

【グループワーク②:他者視点】 他の人の暮らしと移動を想像してみよう！

→グループにいない属性の人物像(ペルソナ)を選択し、その人の暮らしや移動を想像して、その人の困りごとや希望の条件などについて意見交換する。

対話の内容

【ペルソナ例】

高校生／大学生／新社会人／
外国人労働者／高齢者／
現役世代(母)／現役世代(父)／
滋賀旅行を検討する観光客／
滋賀への引越し・家探しを検討しているファミリー／
滋賀県内で新しい研究所の開設を検討する企業の担当者

【考えること】

- この人はどんな暮らしをしている？ したいと思っている？
- この人はどんなことに困っている？
- この人の将来の暮らしはどうなる？
- この人がこのまちで幸せになるためには？
- うちのまちを選んでもらうにはどういう条件が必要？

分類Ⅰ(市内で暮らす人)

山田 香織さん
年齢：18歳
性別：女性
属性：高校生
目的：滋賀県内(大津市)へ通学
課題：通学時間が長い
希望：通学時間が短くなるようにしてほしい

石川 花子さん
年齢：75歳
性別：女性
属性：高齢者
目的：買い物
課題：買い物に行くのが大変
希望：買い物に行くのが楽になるようにしてほしい

分類Ⅱ(転入・来訪を検討する人)

渡辺 花子さん
年齢：35歳
性別：女性
属性：新社会人
目的：滋賀県内(大津市)へ就職
課題：通勤時間が長い
希望：通勤時間が短くなるようにしてほしい

渡辺 花子さん
年齢：35歳
性別：女性
属性：新社会人
目的：滋賀県内(大津市)へ就職
課題：通勤時間が長い
希望：通勤時間が短くなるようにしてほしい

タウンミーティング全体概要

※市町独自のプログラムで実施した市町は個別項目で紹介

○グループワーク概要

【グループワーク③:まちづくり視点】 優先的に実施すべき取組を付箋に書いてみよう！

→「まちの未来をつくる視点」で、何に優先的に取り組むべきかについて議論する。

対話の内容		
運行サービス水準の向上	・運行本数の増便 ・始発・終発の延長 ・路線網・運行エリアの拡大 ・定時性・速達性の向上 など	広域的な移動(市外など)
		駅・拠点へのアクセス
		地域内の移動
利用しやすいさの向上	・運賃値下げ・サブスク化 ・キャッシュレス決済の導入 ・バリアフリー化 など	
担い手確保対策	・人材育成への支援 ・運転士の待遇改善 など	
先進技術への挑戦	・自動運転技術の開発・普及 ・データ活用・連携 など	
住民啓発・機運醸成	・利用者数増に向けた啓発 ・乗り方教室の実施 など	
その他の取組		
地域交通への取組(投資)は不要		

③まちづくり視点(まちの未来をつくる)

まちの未来をつくる視点で、交通に関して、どこに優先的に取り組むべきか(投資すべきか)、付箋に内容・理由を書いて貼ってみよう！(1人5枚まで)

取組	付箋貼付欄
広域的な移動 (市外など) ★鉄道や広域路線バスなど	
駅・拠点へのアクセス ★路線バス、コミュニティバス、デマンドバスなど	
地域内の移動 ★デマンドタクシー、民営タクシー、ライドシェア、シェアサイクルなど	
運行サービス水準の向上 ・運行本数の増便 ・始発・終発の延長 ・路線網・運行エリアの拡大 ・定時性・速達性の向上 など	
利用しやすいさの向上 ・運賃値下げ・サブスク化 ・キャッシュレス決済の導入 ・バリアフリー化 など	
担い手確保対策 ・人材育成への支援 ・運転士の待遇改善 など	
先進技術への挑戦 ・自動運転技術の開発・普及 ・データ活用・連携 など	
住民啓発・機運醸成 ・利用者数増に向けた啓発 ・乗り方教室の実施 など	
その他の取組	
地域交通への取組(投資)は不要	

【甲賀市】 開催状況

○参加者の状況

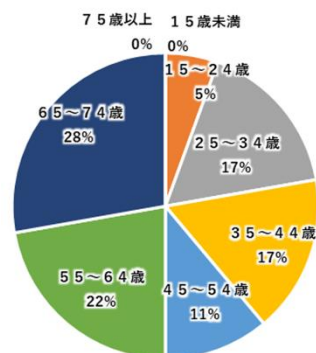
属性	人数
一般参加者	18人
知事、市長	2人
交通事業者(参加)	3人
交通事業者(傍聴)	0人
来賓・オブザーバー等(傍聴)	18人
計	41人

■ご参加いただいた交通事業者
(株)シガ・エージェントシステム
信楽高原鐵道(株)
滋賀バス(株)

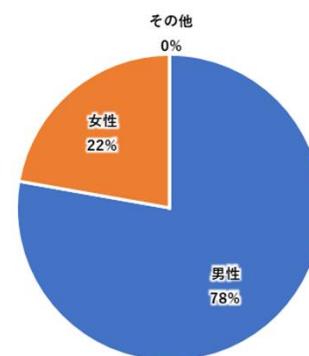
■報道機関等
9社

○一般参加者の属性等

■年代

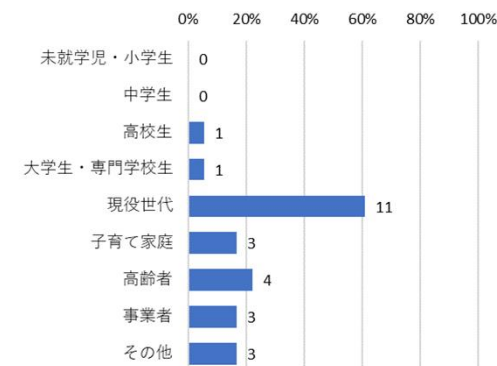


■性別



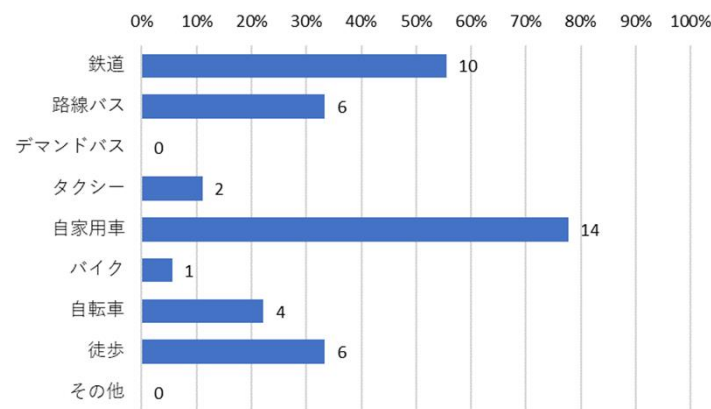
■属性

※複数選択

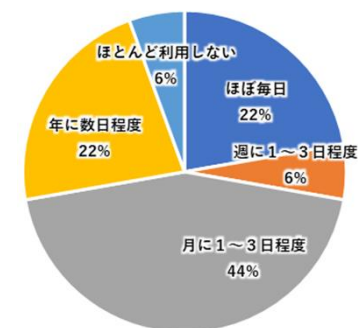


■主な移動手段

※複数選択

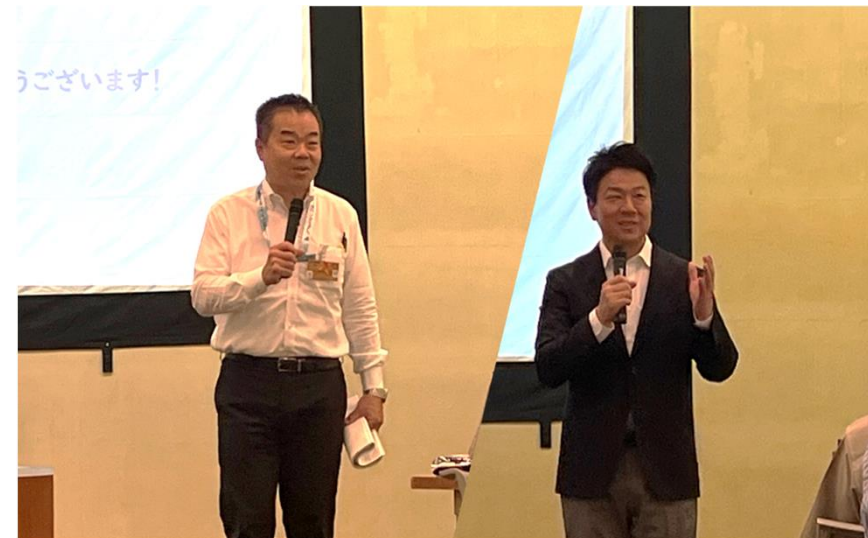


■公共交通の利用頻度



【甲賀市】 開催状況

○開催の様子



【甲賀市】 参加者の意見

- JR草津線の運行本数をコロナ禍以前の水準に戻してほしいという意見が多く出された。
- 増便等に向けては、まずは地域による利用増・需要創出が必要だとする意見も多く出された。



JR草津線を核にして、鉄道のパワーアップが必要では？
増便したり、京都との直通運転とかが出来れば、通勤や通学がしやすくなって、甲賀市に住みたい人もきっと増えると思う。

貴生川駅とか、乗り換え拠点である駅周辺をもっと盛り上げれば、公共交通を利用する人がもっと増えるのでは？



運転士不足には企業や住民の協力に対応できないかな。
タイミーみたいに、スキマ時間だけ協力できる仕組みがあれば、運転士をやる人も多いと思うんだけど…

公共交通を便利にするためには、利用者を増やさないとダメだ。
地域みんなが利用することに加えて、イベントを開催したり、地域に来る人自体を増やすことも大切じゃないかな。



【甲賀市】 参加者の意見（GW③での意見の整理）

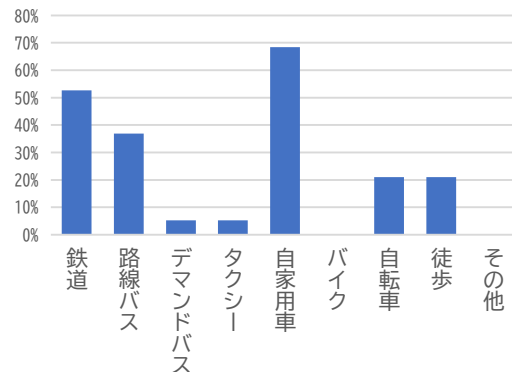
取 組 分 類		意見数（付箋数）	具体的な意見・アイデア等（似た意見は集約）
運行 サービス 水準の 向上	広域的な移動 （鉄道・幹線バス等）	 (11)	・草津線増便（ワンマン運行・複線化など） ・JRの新快速を草津駅で分離して草津線に入れる
	駅・拠点への アクセス	 (11)	・水口工業団地周辺のバス路線を増便して通勤利用者を増やす ・通勤利用のためには夜間のバスが必要 ・市内中心部を自動車禁止にしてバスの定時制を確保 ・定額タクシーなど、駅までの送迎サービス ・JRに合わせた近江鉄道増便 ・主要路線の増強（輸送力の集約）
	地域内の移動	 (13)	・住民による運転士確保（ライドシェア・登録ドライバー制度など） ・カーシェアを駅前に整備 ・バスの情報発信（どんな施設にバス路線が通っているか） ・電動アシスト自転車の購入に補助金交付（車→自転車+公共交通に）
利用しやすいさの向上		 (12)	・駅前の魅力向上（トイレ整備・コンビニ誘致・宿泊施設整備など） ・運賃を250円で統一/小児運賃無償化 ・通学・通勤時間帯の車両増結 ・キャッシュレス対応（交通系IC）
担い手確保対策		 (10)	・給与増による運転士確保 ・子供たちが運転士の仕事に興味を持てるようなイベントを開催 ・有償ボランティアの活用 ・運転士という職業のメリット発信 ・民間との協業化
先進技術への挑戦		 (4)	・自動運転
住民啓発・機運醸成		 (15)	・公共交通の情報発信（路線・利用方法など） ・公務員の利用促進 ・環境保護の観点からの利用啓発/送迎負担軽減の観点からの利用啓発 ・歩いて楽しいまちづくり/地域の交流の場づくり ・地域に人を集めるイベントの開催 ・朝ラッシュ時の中心市街地を自家用車の乗り入れ禁止にする
その他の取組		 (4)	・移動弱者の支援 ・バスの快適化（充電設備、飲食可など）
地域交通への取組は不要		(0)	(なし)

【甲賀市】 事後アンケート結果

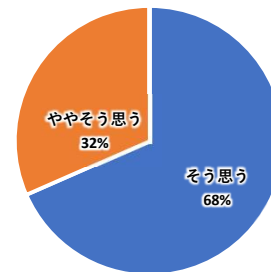
- 参加者の9割以上の方が、地域の交通に対する理解が深まり、新たな気づきがあったと回答。
- 地域交通の価値として、子供・若者や高齢者の移動手段確保、経済活性化が重視される傾向にあった。

N=19（※交通事業者 1 を含む）

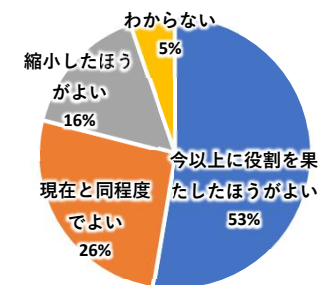
普段利用している移動手段
(複数選択)



TMを通じて「自分たちの地域の交通」への理解が深まったか

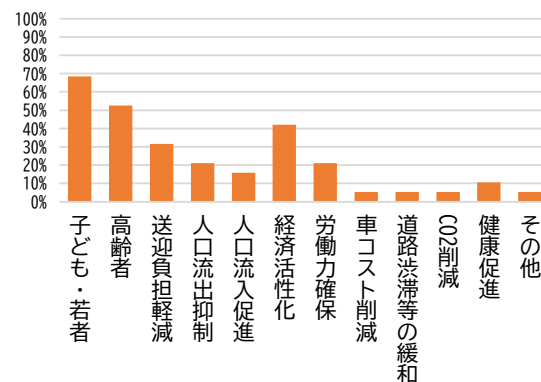


地域交通の維持・充実を図るうえでの行政の役割についてどう思うか

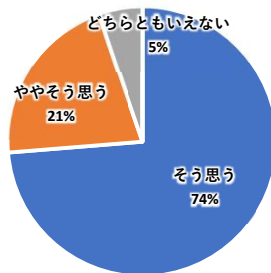


地域交通の持つ多面的価値について、特に重要だと思うもの（3つまで選択）

※一部3つを超えて選択された方あり。



TMへの参加を通じて新たな気づきや発見を得られたか



今後、地域交通をどのようにしていくべきか。
(自由記述)

- ・地域交通は都市総合計画で進めた方がよい。
- ・街の活性化、街づくりの礎になるような交通利便性。
- ・地域交通を多くの人が使うようにすること。
- ・利用者を増やして本数を増やす。
- ・駅周辺を賑わうようにする。
- ・鉄道沿線に施設・住宅をつくるモデルをうまく回す。
- ・各駅周辺に企業を誘致。
- ・子どもや高齢者、障がい者が移動しやすいように。
- ・JR側としてできることを確認してほしい。
- ・住民でのアクションとそれを後押しする施策。
- ・規制緩和を進め、実験できる場をつくる。
- ・自動運転化と人材の確保。
- ・人口減少に対応した新しいサービスの形に変化させる。
- ・交通の目的化、忍耐力での誘客。

など

(具体内容)

- ・普段交流のない方の意見を聞いた。
- ・別の立場となって考えるきっかけとなった。
- ・市・県の具体的な取り組みを知ることができた。
- ・移動・待ち時間が楽しくなると豊かになるという視点。
- ・普段は本数への不満があったが、色々なところに公共交通機関で行けるのはありがたいと思った。

【竜王町】 開催状況

○参加者の状況

属性	人数
一般参加者	20人
知事、町長（途中まで）	2人
交通事業者（参加）	2人
交通事業者（傍聴）	1人
来賓・オブザーバー等（傍聴）	17人
計	42人

■ご参加いただいた交通事業者

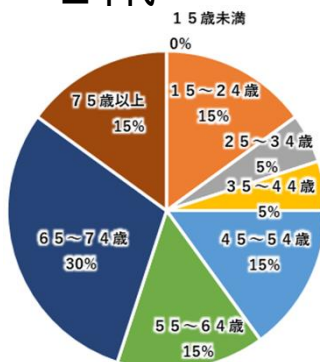
近江鉄道(株)
近江タクシー(株)
滋賀県バス協会

■報道機関等

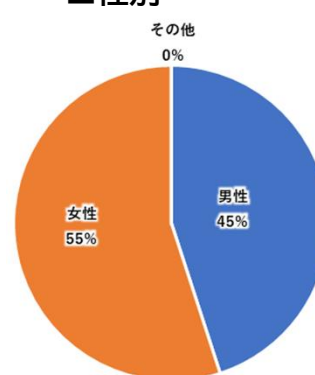
1社

○一般参加者の属性等

■年代

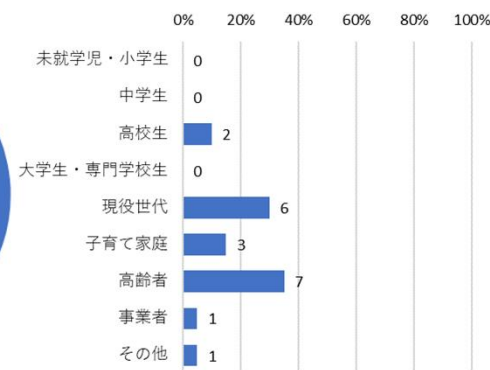


■性別



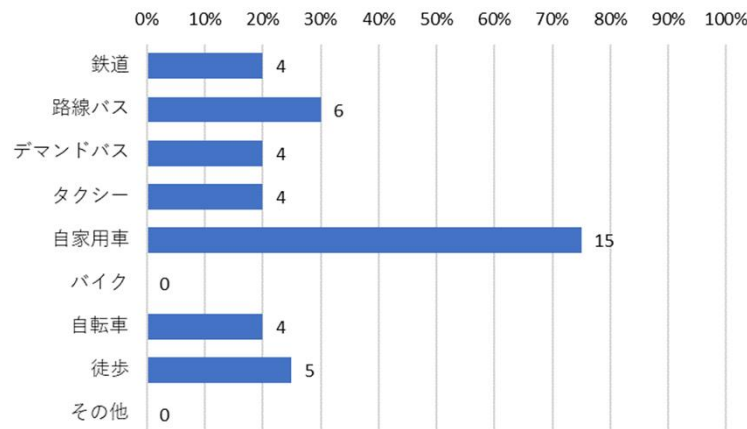
■属性

※複数選択

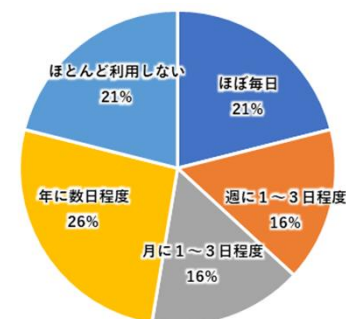


■主な移動手段

※複数選択



■公共交通の利用頻度



【竜王町】 開催状況

○開催の様子



【竜王町】 参加者の意見

- 運賃の高さや予約方法など、公共交通の利用ハードルになっている点について、具体的な意見が多く出た。
- チョイソコを高く評価する人も多く、チョイソコを活かした町内の交通網整備への期待感があった。



道が整備されてないから、バス停まで歩いたり自転車に乗るのがちょっと怖い。もっと安全にバスを待てるようになれば、バスに乗る人も増えると思う。

バスは駅に行くために使うけど、運賃が高すぎるよ。せめてガソリン代と駅の駐車料金より、バス代の方が安くなないと使いにくいよね。



チョイソコって便利なのに、乗る人が少ないね。会員登録や予約が難しいから、本当は使いたいお年寄りが乗れていないのかも。

公共交通の拠点づくりが必要じゃないかな。そこからバスに乗ればどこでも行けて、そこに行くこと自体が用事になるような場所がいいな。



【竜王町】 参加者の意見（GW③での意見の整理）

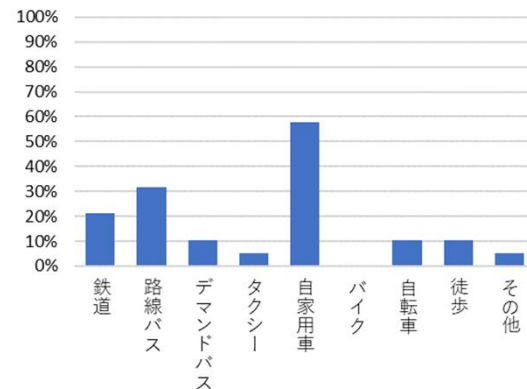
取 組 分 類		意見数（付箋数）	具体的な意見・アイデア等（似た意見は集約）
運行 サービス 水準の 向上	広域的な移動 （鉄道・幹線バス等）	 (5)	・ 中心核エリアのバスターミナル整備 ・ 町内の路線拡大 ・ 竜王駅の実現
	駅・拠点への アクセス	 (8)	・ 野洲駅/近江八幡駅に着く路線バスの増便 ・ チョイソコリゅうおうの停留場に近江八幡駅を追加
	地域内の移動	 (13)	・ チョイソコのサービス改善（車両数増加・運行時間の延長・休日運行など） ・ 予約のいない公共交通の整備（定時定路線型） ・ 小学生の通学に利用できるような時間/経路設定 ・ 一時的なチョイソコの増便実証を行い、移動ニーズを確保する
利用しやすいさの向上		 (17)	・ バス停の数を増やす ・ 運賃値下げ ・ バス停の整備（上屋・駐輪スペースの整備など） ・ チョイソコの利用手順改善 ・ 安全な歩道・自転車道の整備
担い手確保対策		 (4)	・ 子供への交通学習（乗車体験など） ・ 企業送迎バスの活用 ・ 普通免許で地域交通のドライバーができるようにする
先進技術への挑戦		 (7)	・ 自動運転（専用道の整備で実装ハードルを下げる）
住民啓発・機運醸成		 (4)	・ 徒歩移動の推奨 ・ チョイソコに関する情報周知（登録方法・利用状況レポートなど）
その他の取組		 (11)	・ 町内に目的地となる施設が必要 ・ コンパクトシティの推進
地域交通への取組は不要		(0)	(なし)

【竜王町】 事後アンケート結果

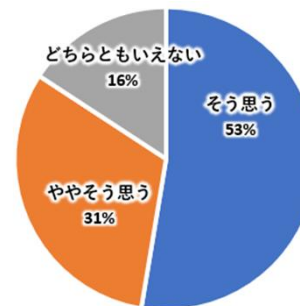
- 参加者の8割程度の方が、地域の交通に対する理解が深まり、新たな気づきがあったと回答。
- 地域交通の価値のうち重視することは、子ども・若者や高齢者の移動手段確保に次いで、送迎負担の軽減と人口流出抑制が多かった。

N=19

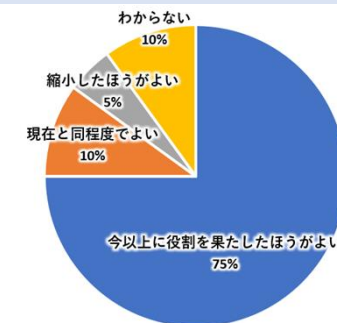
普段利用している移動手段
(複数選択)



TMを通じて「自分たちの地域の交通」への理解が深まったか

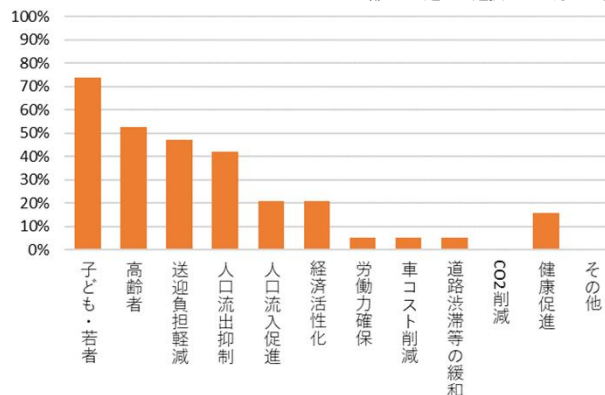


地域交通の維持・充実に図るうえでの行政の役割についてどう思うか

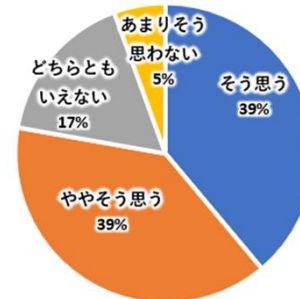


地域交通の持つ多面的価値について、特に重要だと思うもの(3つまで選択)

※一部3つを超えて選択された方あり。



TMへの参加を通じて新たな気づきや発見を得られたか



(具体内容)

- ・年代によって生活状況や思いが違うことが知れた
- ・チョイソコリゅうおうに乗っている人の意見が聞けた
- ・チョイソコよさを知った
- ・竜王町が暮らしやすくするために、働き口を多くする必要があったと思った
- ・移動手段は大事だと思った

など

今後、地域交通をどのようにしていくべきか。(自由記述)

- ・自動運転を実現させる為にも歩道や自転車道の整備が必須
- ・チョイソコを使いやすくする
- ・バスの運賃を安くする
- ・チョイソコの土日祝運行、終電を遅くする
- ・若者が多く暮らす町でないと、町も地域交通も行き詰まる
- ・だれもが使いやすいシステムにする
- ・移動手段を持たない人にとって役立つ交通手段の検討が必要
- ・このような会を町で開き、共に考える人を増やすとよい
- ・「乗りたくなるような地域交通」があってほしい
- ・通勤定期の補助、夜間特別便の対象拡大
- ・地域を自由に行き来できる交通網の構築
- ・明らかになっている課題を1つずつ解決していったほしい
- ・すべての地域交通の連携

など